

# GOVERNOR'S

Rotary  
District 2530



イマジン  
ロータリー

## MONTHLY LETTER 1

Rotary International District 2530 Vol.7

ガバナー月信 2023年 / 1月号 2023



喜多方市 雲海と雄国山・磐梯山

## CONTENTS ガバナー月信 2023年1月号

ガバナーメッセージ..... 2	県中分区 青少年奉仕会議開催報告 ..... 7	職業奉仕委員会..... 14
ロータリー財団地域セミナー参加報告..... 3	地区・クラブ規定委員会セミナー開催報告... 8	新会員紹介..... 14
ガバナーエレクト研修セミナー(GETS # 2)参加報告... 3	戦略計画委員会開催報告..... 8	11月会員数報告 ..... 15
ガバナーノミニ研修セミナー参加報告(GNTS) ... 4	ロータリー財団補助金管理セミナー開催報告... 9	ロータリー国際大会 2023 ..... 16
第2回ガバナー会議参加報告..... 4	右近八郎ガバナーエレクト国際協議会社行会開催報告... 10	第41回 RYLA 研修会参加者募集 ..... 16
第51回ロータリー研究会参加報告 ..... 5	郡山西RACガバナー公式訪問報告 ..... 10	公共イメージ QR コード ..... 16
石川ロータリークラブ ホリオ活動報告 ..... 6	米山記念奨学生選考試験開催報告 ..... 11	
第1回青少年交換派遣学生オリエンテーション開催報告... 6	マスコミトップインタビュー ..... 12	

国際ロータリー第2530地区 2022-23年度 ガバナー 佐藤 正道

ガバナー事務所 〒966-0092 福島県喜多方市字清水台2-92 (南)中野商店2F  
TEL : 0241-23-6016 FAX : 0241-23-6026 E-mail : 22-23sato@ri2530.com

地区事務所 〒963-8831 福島県郡山市七ツ池町 26-3  
TEL : 024-954-6755 FAX : 024-954-6615 E-mail : chikujimusyo@ri2530.com

## ガバナーメッセージ



国際ロータリー第 2530 地区  
2022-23 年度ガバナー

**佐藤 正道**

(喜多方RC)

新年明けましておめでとうございます。7月に新年度を迎え光陰流水のごとく半年が過ぎました。今年度はコロナを言い訳にせず、どうしても対面で実施出来るのかを考え行動することを念頭に、地区行事、公式訪問、地区大会等を開催してきましたが、多くのロータリアンの皆さんと出会い語り合いする中で改めて、同じ空間で交流することの意義を痛感しました。ご理解の上ご参加・協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

ロータリークラブの使命は、ロータリーの理念をその地域に末永く根付かせていくために、受け取ったバトンを後進に引き継ぐことにより、地域の活性化が持続していけるように、クラブを維持運営することが必要だと思います。持続的に組織を維持するにはクラブに活気をもたらし、新世代の人材を取り込み指導し、更に学びを深め互いに切磋琢磨して強い組織にしていくことが求められます。具体的には、充実した例会や奉仕事業、会員増強、研修会の開催及び参加、魅力的な親睦事業等です。最近のRIは会員増強に主眼を置くばかりで、入会資格を大幅に緩和し会員を増やそうとしているのは間違いだという話をたまに耳にします。大都市部ならまだしも地方の過疎地域に業界を代表するような人材はどのくらいいるのでしょうか。その人達だけで次世代もクラブを維持していけるのでしょうか。私たちは時代の変化に翻弄され、地

域環境も大きく変化している中で、時代にあった組織の変革が必要なのではないでしょうか。楽しい・ためになる例会づくりと言いながら、例会行事をこなしているだけではないでしょうか。地域に求められるべき事業が、地域ニーズや課題に向き合わず、自己満足になっていないでしょうか。等しくクラブ会費・地区賦課金を納めているのにも関わらず、例会を欠席、地区のセミナーは面倒だと言って不参加、新会員研修は計画ばかりで実施せず、いつ学ぶのでしょうか。親睦事業イコール酒宴だと思っていないでしょうか。会員が忌憚なく意見交換できる場はあるのでしょうか。今年さえこなせばと、前年踏襲の内容になっていないでしょうか。一昨年8月ジェニファー・ジョーンズRI会長エレクトは、新しい年度をMY YEARでなくOUR ROTARYと、自分の年度として見るのではなく私たちのロータリーと捉えてほしいと言われておられました。

先月大阪ロータリー100周年を祝う会として2660地区の地区大会があり、千玄室元RI理事の講演がありました。一部を紹介しますと、会費を納め行事をこなすだけの人はロータリーメンバー、ロータリーの理念を実践する人がロータリアン。ロータリーの奉仕とは個人で関り、自分ができないときに職業奉仕として会社で関わる。自分の居場所（会社、業界、家庭、クラブ）を確立することが必要で、それによって成長することができる。

前半を振り返り、後半に向けて心新たにロータリーの理念を実践していきましょう。

## ロータリー財団地域セミナー参加報告 11月19日



2022-23 年度ガバナーノミネー

**早川 敬介**  
(郡山北RC)

19日9:00～「ロータリー財団地域セミナー」が、総合司会：第1地域RRFC飯村慎一氏でスタート。

主催者挨拶＆来賓紹介：第2地域RRFC服部良男氏。

RI理事 佐藤芳郎氏より、「Polio根絶」が全国津々浦々で活動されていることが報告されました。DDFを使って奉仕すること、寄付もお願いしたいと話されました。

TRF管理委員長イアン・ライズリー氏より、「Doing Goods in the world」・「End Polio Now」プロジェクトの報告がありました。

TRF管理委員 三木 明氏より、「Polio菌がいる限り、発生する可能性があり」・「Polioが根絶されない限り子どもたちが危険にさらされている」状況が、2022-26ポリオ根絶戦略で「子どもたちへの約束を果たす」ための寄付が呼びかけられました。また、ウクライナへの人道支援は、難民サポートのため住宅設置に使われたことが報告され、加えて「(公

財)ロータリー日本財団の現状」報告もいただきました。

ロータリー平和センターホストエリアコーディネーター 水野 功氏より、「ロータリー平和センターの取り組み」について報告があり、8番目のセンター設置が決まったこととカウンセラーに対して地区からの支援要請がありました。

第2地域ロータリーカード地域コーディネーター 関 博子氏より、「ロータリーカードの現状報告」で、カード使用額の0.3%が大金になること、地区にカードコーディネーターを置くよう要請がありました。

午後からは、「大口寄付・恒久基金推進」、「PHS入会を推進しよう」、「ポリオ根絶に向けてと世界ポリオデー報告」。

地区活動報告会では、D2750より「ウクライナ災害救援基金 プロジェクト」、D2660より「パキスタンにおけるポリオの現状とポリオハイリスク地域における浄水プロジェクト」など。

パネルディスカッション「ロータリー財団のクラブへの認知度向上」が、D2550・D2580・D2610・D2710の各DRFCによりなされ、各地区のHPに財団の情報が少ないこと、My ROTARYへの登録の推進が前提であることが強調されました。

## ガバナーエレクト研修セミナー (GETS#2) 参加報告 11月20日



2022-23 年度ガバナーエレクト

**右近 八郎**  
(福島RC)

2022年11月20日(日)に第2回ガバナーエレクト研修セミナー(GETS#2)が、神戸ポートピアホテルにて開催され、参加しましたのでご報告します。本セミナーは例年通り、第51回ロータリー研究会(11月21日、22日、神戸ポートピアホテル)の付随プログラムとして開催されたものです。第1回GETS#1は2022年9月5日(月)、6日(火)にグランドプリンスホテル新高輪(東京)にて3年ぶりの直接会合で開催され、今回の第2回も直接会合でガバナーエレクト32名およびパートナー24名が参加し開催されました。

今回のセミナーは2023年1月8日(日)から12日(木)に、米国フロリダ州オーランドにて開催予定の国際協議会への準備のためのもので、全体会合のあとガバナーエレクトは研修セッション1コースのみ、パートナーは全体で国際協議会への対応のためのパートナーセッションを受講し、17:00に無事閉講となりました。写真は研修セッションの風景

(上)と、佐藤RI理事(前方右)、辰野直前RI理事(前方左)と撮ったものです。

今回のセミナーは、各ガバナーエレクトが既に自クラブ内での体制作り、当該年度地区組織の検討、ガバナー補佐候補者研修など、様々な実作業が走り出している段階での研修ということで、それなりに各自の覚悟が出来上がった落ち着いた雰囲気の中で進みました。現在の進捗状況などの再確認を行い、来年1月のオーランドにての再開を約してセミナー終了となりました。



## ガバナーノミニー研修セミナー参加報告 (GNTS) 11月20日



2022-23年度ガバナーノミニー  
**早川 敬介**  
(郡山北RC)

20日9:00～12:00パートナーと共に全体会。一番前の真ん中の席が用意され、菅原裕典GETS研修チームリーダーの司会でスタート。佐藤芳郎RI理事(2022-24年)より「国際ロータリーの現況」報告がありました。

ロータリーの日々革新Evolutionary alwaysの背景にはITの革新的進歩があること、しかしface to faceの情報交換も必要。Grow Rotary「ロータリーを育てよう」には、先進国での会員減少・後進国での会員増加を課題として取組んでいかなければならないこと、DEI導入やパイロット地区での会員増加策など話されました。また、DGはRIの一員であることを強調されました。

三木明TRF管理委員会委員より「ロータリー財団の現況」で、ワクチン由来の発症例がアメリカ・イギリスであったこと、ウクライナへの支援1,300万ドル(日本から334万ドル)があったこと、年次基

金「0クラブ」が3クラブ合ったことが報告されました。

四宮孝郎GNTS研修チームリーダーより「GNTS開催趣旨説明」があり、DG就任までの道のりの中にMy ROTARYのe-learning 91コースの活用が呼びかけられました。

水野功2021年研修チームリーダーの基調講演、Enjoy Rotaryに時代により「楽しみ方の変化」があること、会員増強の必要性は平均年齢の若返り、Pastは終わりではなくスタートだ！ロータリーロゴを正しく使っているもののみ(写真の背景にも注意)を発表するようになどの話がありました。

13:00～14:00分科会はGNとパートナーは別室で、山崎淳一2020年研修チームリーダーを第一地域のファシリテーターに「リーダーとなるための準備」、14:05～15:05は菅原裕典GETS研修チームリーダーを第一地域のファシリテーターに「地区を理解する」で、意見交換をしました。

15:20～17:00全体会では、米山記念奨学会 理事長・RIJYEM理事長・ロータリーの友 委員長・ロータリー文庫 委員長・平和センターエリアコーディネーター・E/MGA・EPNCより各種報告が。

18:00～20:50「第51回ロータリー研究会RI会長・TRF管理委員長ご夫妻歓迎晩餐会」が行われました。

## 第2回ガバナー会議参加報告 11月20日



2022-23年度ガバナー  
**佐藤 正道**  
(喜多方RC)

さる11月20日に神戸ポートピアホテルにて第2回ガバナー会議が開催されました。

冒頭佐藤芳郎RI理事よりご挨拶があり、ポリオデーの参加御礼ならびに日本経済新聞社全面広告への協力御礼に続き、RI理事会報告がありました。ゾーンの組織構造の見直しについては、具体的に話し合いが進んでいないようですが、規定審議会で決定されたゾーン8(オーストラリア)とRIBIがパイロット地区となり試験的な試みがなされています。ゾーン8はSRF(ロータリーの未来形成)に近い組織体系を模索しているようですが、ゾーン内の合意には至っていないようです。SRF委員会はなくなったわけですが、RIの組織改革は今後も進められることを考えると、今後日本としての考えをま

とめて提案していただきたいとお話がありました。

その後報告事項として2021-22年度ガバナー会議決算報告、ロータリー平和センター・ホストエリア連絡協議会とロータリー文庫の決算報告がありました。さらに現在ロータリー関連事務所が入居する「黒龍芝公園ビル」の賃貸スペースの見直しについて経過報告がなされました。

引き続き協議事項として、第1回ガバナー会議において継続審議となった「未来委員会」の設置について、「現ガバナー会」をRIの規定する「多地区合同組織」とすることについて協議し、ガバナー会の8条委員会の中に、ロータリーの将来を考えるワーキンググループを設置、また多地区合同組織についても、ワーキンググループの中で今後検討をすることを満場一致で可決されました。またガバナー会議運営協力金の増額が提案されましたが否決されました。その後グループに分かれ「ロータリーの成長のために」をテーマとするディスカッションを行い閉会となりました。非常に議論白熱し、充実したガバナー会でした。

## 第51回ロータリー研究会参加報告 11月21・22日



パストガバナー

芳賀 裕  
(福島中央RC)

11月21日、22日(関連行事は19日、20日)、佐藤芳郎 RI 理事(岡山南 RC)の招集で、神戸ポートピアホテルを会場に第51回ロータリー研究会が開催されました。私も次期地区研修リーダーという立場で参加いたしました。

第1セッション「いまこそポリオ根絶」、第2セッション「ローターアクトの新たなるステージをひらく」、第3セッション「未来へ架ける橋(ロータリー平和センター)」では、RIの各コーディネーターが監修されて、各地区よりファシリテーター、パネリストが登壇して様々な情報交換が行われました。

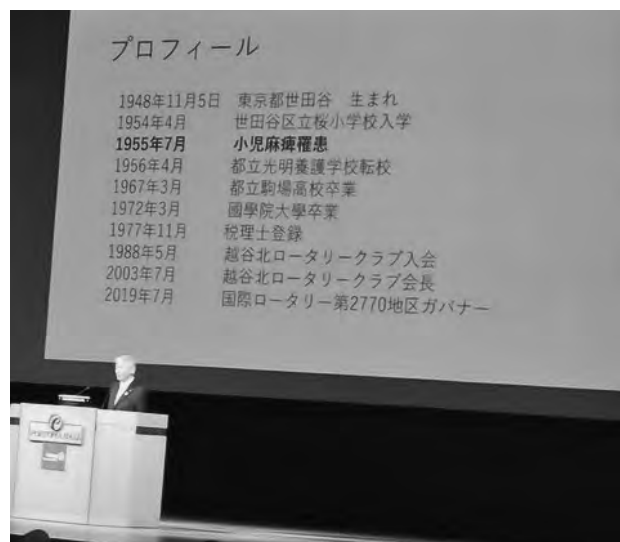
また、その他に講演、ブレイクアウト・セッション、オープンフォーラム等が行われ、例年の研究会プログラムより多くのRI・地区の役員や学友の登壇があり、それぞれがしっかりと役割を果たしておられた印象を受けました。

プログラムの中から2つを紹介いたします。

一つは、ポリオ根絶に関する講演の中で「1955年東京 ポリオ罹患 母の手記から」と題した第2770地区2019-20年度ガバナー小林操氏(越谷北)のスピーチです。1948年生まれの同氏は小学校1年の時、常用していた井戸水から小児麻痺に罹患。当時何の病気かわからず苦しんだ母が後日振り返って書いた手記を基に小児麻痺感染者、家族の苦しさを語られました。そして、予防できる病気となった今、私たちは世界からポリオを根絶し、苦しむ人を無くす活動に力を合わせて取り組むべきである、と心から訴えられました。私は、同期のガバナーとして同氏と親しい中ではありますが、あらためて感銘を受けたスピーチでした。

もう一つは、4つのテーマに分かれたブレイクアウト・セッションの中で「貧困と教育機会～ロータリーの果たす役割～」です。ロータリー平和センター・ホストエリアコーディネーターの水野功氏(東京飛日野)が監修に当たられ、ICUロータリー平和センター長の国際基督教大学新垣修教授がファシリテーターとなり進行されました。1996年にラジェンドラ・サブール・ハリスの没後50周年を記念する平和プ

ログラムとして進められた「ロータリー平和センター」ですが、ホストは、関東エリアのクラブが担っているため当地区では馴染みがありません。これまでの卒業生が1,500人以上となり115か国以上で平和構築と開発の分野で大変重要な役割を果たしております。ウクライナ戦争で多くの避難民が生まれていますが、現在、難民は3,250万人、国内避難民は5,320万人そして何らかの理由で移動を強いられた人は1億人を超えます。難民で初等教育を受けられる子は68%(世界では89%)、中等教育を受けられる子は37%(世界では66%)、高等教育を受けられる若者は6%(世界では40%)の現状から難民が教育を受けられる機会をつくり、貧困から脱出させる必要性が語られました。一例として、6～20歳までスーダンで難民であった17期生(現在21期生)のセメネルソン ロモレス氏が現在フィンランドで活動されていることが紹介されましたが、私たちもロータリー平和センターをもっと身近な活動として関心を持っていくことが大切だと感じたセッションでした。



# 石川ロータリークラブ ポリオ活動報告 11月23日

石川ロータリークラブ  
クラブ会報・広報委員長  
**白 岩 祐 樹**

石川町に冬の訪れを告げる八槻市（4年ぶり）開催にあたり、初めてクラブでポリオ募金活動を実施しました。当日は心温まる浄財65,070円が集まりました。当日はポリオに関する資料も用意して、ポリオの現状（ポリオ常在国あと2ヶ国パキスタン・アフガニスタン）について啓蒙活動もしました。

令夫人方のお手伝いを得て行ったけんちんうどんの益金31,818円を例会で寄付され、合計96,888円（234人分）をロータリー財団へ送金しました。



福島民報 2022・11・25 掲載  
町民ニュース 2022・11・23 掲載 (上) 12・3 掲載 (下)

# 2023-24年度派遣 第1回青少年交換派遣学生オリエンテーション開催報告 11月23日



青少年交換委員会  
委員長 **原 田 康 博**  
(いわき平東RC)

去る11月23日（水）本年度第1回目のオリエンテーションを郡山の地区事務所にて開催いたしました。佐藤正道ガバナー、右近八郎ガバナーエレクト、大木青少年奉仕委員長長の出席をいただきました。又、佐藤日出夫地区幹事には、早朝よりお手伝いをいただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。

ガバナーより挨拶をいただき励ましの言葉と、派遣学生候補生としての心構えなどを説いていただきました。

このオリエンテーションは交換事業をするために非常に重要なもので、これがなければ、交換事業を開始することができません。

今年度は、5名の派遣学生の候補生がおり、会津

分区3名、県北第二分区1名、県南分区1名が参加いたしました。オリエンテーション内容は次の通りです。1. ロータリーについての説明、2. ロータリー青少年交換プログラムとは、についての説明、3. 2023-24年度青少年交換プログラム実施についての説明を一通り済ませ、実務の研修に入りました。4. YESS登録についての説明、登録の仕方等、実際にパソコンを使用して行いました。なぜ登録をすることと申しますと、YESSはRIJYEM（一般社団法人国際ロータリー日本青少年交換他地区合同機構）が運営しているサイトで、交換学生達（INBOUND、OUTBOUNDの学生）の安全、安心を守りあらゆる危機を回避するための重要なサイトであるからです。次に5.Application formの作成についての研修です。作成方法、作成の留意事項、添付書類の依頼（学校、医師、歯科医師）についての説明をいたしました。学生一人一人がこのフォームを完成させた時点で派遣国相手地区探しになりますが、私達青少年交換委員会一同は、派遣を実現させるよう粛々と準備を進めてまいりますので、今後とも会員の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

## 県中分区 青少年奉仕会議開催報告 11月27日



常葉ロータリークラブ  
会長 土屋 省一

令和4年11月27日（日）県中分区主催青少年奉仕会議を田村市常葉町の文化の館ときわを会場に、県中分区の各6クラブ会員と常葉中学校生徒合わせて60名が参加して開催しました。

講師として令和4年7月に田村市の副市長に就任された小野淳一様をお招きし「ワクワクがとまらない 自然とチャレンジがいきるまち」と題して講演を頂きました。

「視野を広げよう」「イベントは広報が大事」「地域貢献」などについて講演され、自分の常識が他人の常識とは限らない事や移住者との交流、語学留学の支援策、SNSの有効活用とターゲットの明確化、観光地の現状と課題、儲かるところには人が集まる事、子育て支援策やデマンドタクシーによる全ての世代にやさしいまちづくりや、持続可能な地域づくりの事例などを取り上げて「市には良いものがたくさんあるのに、何もしないでは何も起こらない。共に知恵を出し合い行動を起こそう」と話されました。

参加した中学生からは、「自分の見識を広められ、田村市のことにたくさん興味を持つきっかけになった。田村市の発展に少しでも貢献して行きたい」「SNSを活用した取り組みに興味を持った。SNSを利用した情報発信について考えて行きたい」「会場で質問できた事が自信になった」「市の手厚い子育て支援策が心に残った」「ロータリークラブの皆さんが社会をより良くして行こうと熱い思いを持って活動している事を知った」「ロータリークラブの皆さんの様なボランティア活動に積極的に参加し、より良い住み良い町にして行きたいと思った」などの感想が寄せられました。



## 地区・クラブ規定委員会セミナー開催報告 11月27日



地区・クラブ規定委員会  
副委員長 重 富 秀 一  
(浪江RC)

### RI組織規程とロータリークラブの

#### 定款・細則について

11月27日（日）に福島県男女共生センター（二本松市）において地区・クラブ規定委員会セミナーが開催されました。各分区のガバナー補佐、各クラブも会長・幹事・研修リーダーなど多くのロータリアンにご参加いただきました。

セミナーの前半では、まず芳賀委員長が国際ロータリーの組織規程（国際ロータリー定款、国際ロータリー細則、標準ロータリークラブ定款および推奨ロータリークラブ細則）と地区運営規定についての解説を行いました。次に、私からは各クラブが採択しているクラブ定款・細則と標準ロータリークラブ定款と推奨ロータリークラブ細則との関係について説明をさせていただきました。その後、各分区のガバナー補佐がDLとなってクラブ定款と細則、地区運営規定についての自由討論が行われました。最後に各分区の代表者がその結果を発表して全日程を終了しました。国際ロータリーの組織規程やクラブ定款・細則に関するセミナー開催は初めてでしたが、参加者からはとても有意義であった、ぜひ毎年開催してほしいという声が多く聞かれました。

私たちロータリアンは地区およびクラブの方針に

基づいてさまざまな活動を行っています。ロータリークラブの活動は自由で主体的なものですが、国際ロータリーが定める組織規程を遵守する義務があります。国際ロータリーには3年毎に開催される規定審議会という組織があります。組織規程の改訂はこの審議会によって行われます。さて、2021-22年度の規定審議会において採択（改訂）された規定については、2022年7月1日より適用されています。すなわち、世界中のすべてのロータリークラブは、2022-23年度内に改訂された国際ロータリー定款と細則を遵守するとともに、標準ロータリークラブ定款と同じものを各クラブの定款として採用しなければなりません。また、クラブ細則についても、新しい定款に違反していないかどうか、義務条項は記載されているか、現在のクラブ実情に合致しているかなどについて見直したうえで、各クラブの伝統や実情を反映したものに改訂する必要があります。クラブ定款と細則の改訂は例会において行わなければならない。組織規程をはじめロータリーに関する様々な規定はMy Rotaryのホームページから閲覧できますし、必要な個所はダウンロードして印刷することもできます。2022年版手続要覧はすでにMy Rotaryのホームページにアップされていますので是非ご覧ください。

各クラブの会員各位におかれましては、ロータリアンとして遵守すべき国際ロータリーの規定についてご理解をいただくとともに、各クラブの定款・細則については3年毎に見直す必要があるということをご承知いただきますようお願い申し上げます、セミナーの報告と致します。

## 戦略計画委員会開催報告 11月29日



戦略計画委員会  
委員長 平 井 義 郎  
(福島中央RC)

11月29日全委員が参加しZOOMにて開催しました。

佐藤正道ガバナーの挨拶の後、今回実施しました地区内会員、クラブ会長へのアンケートの纏めについて話し合いました。

アンケートの回答から、データ集計、グラフ化、記述式回答の纏めが完了した旨報告しました。

それらのデータを基に12月中に委員会全員で傾向と分析について検討し、来年早々にクラブ及び会員へ報告できるよう進めることで一致しました。

また、アンケートの回答内容に、個人、クラブ名等が特定できる内容については、意味が変わらない範囲で編集することとしました。

このアンケート調査による地区内の実情を把握し地区の戦略計画を立案することで意見が一致しました。

尚、クラブ別に分けた会員のアンケートデータは、関係クラブへ後日送付する事にしましたので、クラブで活用してください。



## ロータリー財団補助金管理セミナー開催報告 12月3日



ロータリー財団委員会  
委員長 田久 昌次郎  
(いわき平中央RC)

12月3日ユラックス熱海において、次年度に向けた「補助金管理セミナー」が開催されました。本セミナーは、地区財団委員会の担当ではありませんが、ガバナーが必ず主催しなければならない研修会に位置付けられています。

ガバナーによる開会点鐘に引き続き2021-22年度ロータリー財団寄付認証バナーと感謝状の贈呈（代表者）から始まりました。財団活動にご理解・ご協力を戴きました多くの皆様に心より感謝を申し上げます。

ガバナー・地区研修リーダー・財団委員会担当相談役よりご挨拶を戴いた後、財団委員会に所属する大委員長ならび小委員長から次年度補助金申請に向けた基本的事項・変更点などを中心に説明をいたしました。ご存じのことではありまじょうが、クラブは本セミナーを受講し、MOU（覚書）を地区に提出することで次年度補助金申請のための要件を満たすことができます。

補助金委員長／太田丈人（いわき小名浜RC）より「地区補助金申請と報告について」説明をいたしました。委員長には大変判りやすいPPTを作って戴きました。申請と報告の基本的事項、押さえて戴きたいポイントが網羅されておりますので、是非ご活用下さい。地区からTRF（ロータリー財団）への申請・報告は一括となります。クラブからのガバナー事務所宛の提出書類等の期日厳守を改めてお願いいたします。

財団資金管理委員長／鈴木清友（いわき平中央RC）からは「財団申請書式」、資金推進・ポリオ委員長／高萩勝利（いわき勿来RC）は担当委員会よりのお願事項を説明いたしました。本年度の地区活動としてポリオ募金・学園祭ジャック等に力を入れておりますが、これら活動で集まった浄財はクラブのPolioPlus基金とは別建てとなります。各クラブにおいては、引き続きPolioPlus「ゼロ」解消にご協力をお

願いたします。また、2022-23年度より「地区補助金受取人情報書式」（HO-100）の提出締切を変更しています。新年度早々の提出となりますが、会長エレクト等に応じ送りをして戴きますようお願いいたします。

最後に、小職から「地区補助金・グローバル補助金について」と題し、説明を行いました。志賀年度のDDF（地区活動資金）決算概要・佐藤年度の地区補助金プロジェクト申請状況を踏まえ、右近年度の各クラブ地区補助金申請可能額・留意事項・スケジュール等について触れています。なお、次年度は各クラブの「3年前年次寄付額」多寡に応じてクラブ負担割合を可変します。各クラブの計画に従い年次寄付を推進して戴きますようお願いいたします。また、次年度より地区財団委員会内にグローバル補助金委員会を設けます。グローバル補助金申請を予定されているクラブには、地区からの資金調達（DDF 拠出）に係わらず、予め担当委員会にお知らせ下さい。



## 右近八郎ガバナーエレクト国際協議会壮行会開催報告 12月4日



実行委員長  
後藤 忠久  
(福島RC)

12月4日(土) 福島市“ウェディングエルティ”に於いて「右近八郎ガバナーエレクト国際協議会壮行会」が開催されました。

当日は、130名を超えるロータリアンが集い、1月8日～12日米国フロリダ州オーランドで開催される国際協議会に出席するガバナーエレクトご夫妻を激励しました。

壮行会においては、佐藤正道ガバナーよりご挨拶の後、ご夫妻にRI2530地区のメンバーからの心のこもった饞別と花束が手渡されました。また、当日ご出席いただいたパストガバナーの皆様お一人お一人から、熱いエールが贈られました。平井パストガバナーからは、ご自身が出席された国際協議会の内容・模様をまとめたDVDのプレゼントもありました。

右近ガバナーエレクトも感激の面持ちで国際協議会に向けての意気込みと次年度にかける思いを謝辞

として述べられ、その挨拶を拝聴しながら、送り出す福島ロータリークラブとしても地区事業行事に積極的に参加協力していく強い気持ちを持ったところでした。

祝宴もウィズコロナのルールを守りながら、短い時間ではありましたが、出席者同士親交を深めることができました。

また、壮行会運営全般にわたり、何かと不手際、失礼がありましたこと紙面をお借りしお詫び申し上げます。



## 郡山西 RAC ガバナー公式訪問報告 12月8日



郡山西ローターアクトクラブ  
会長 堀下 慎哉

### 活動方針

- ①地区内のロータリークラブ、ローターアクトクラブへの情報発信  
=>地区内セミナー及び例会に参加し、郡山西 RAC の活動を発信
- ②通常例会、移動例会の質の向上  
=>一般の方々でも気軽に参加できるように企画、運営を実施  
例) 茶事例会(郡山西 RAC 月1回実施: 移動例会)
- ③例会行事に自主的に参加し、運営・企画を行う  
=>②を行い、興味関心を深める  
例) ともだち 100人プロジェクト
- ④中長期計画の作成、実施

=>②、③の実施を前提に会員の増強、会員数の維持を図る

2022年12月現在会員7名

2023年1月に2名入会予定。男性1名、女性1名

郡山西ローターアクトクラブとして①～④の方針を掲げ、活動して参ります。

皆様ご協力の程、宜しく願いいたします。

また、12月8日開催ガバナー公式訪問においては、お忙しい中、佐藤正道ガバナーにご訪問いただきましたこと、御礼申し上げます。



12月8日 ガバナー公式訪問

## 米山記念奨学生選考試験開催報告 12月11日



米山記念奨学会選考委員会  
委員長 中原喜範  
(郡山RC)

2023学年度、米山記念奨学生選考試験が12月11日（日）郡山駅前ビッグアイ7F会場において実施されました。

新型コロナウイルス感染が高止まりの中ではありますが対策等をして対面にて開催することが出来ました。11月6日（日）に地区事務所にて面接を担当する佐藤正道ガバナー始め地区各クラブの米山記念奨学会委員会の方々には面接官オリエンテーションを受講していただき当日に備えました。

2023学年度の各校よりの応募が32名あり当地区割当数は21名で、21名中2022学年度よりの継続の奨学生が7.5名（12カ月支給7名6カ月支給1名）いますので選考を出来るのは13.5名（地区指定校11名、地区奨励校は採用枠1人につき2人採用可のため5名）の狭き門でした。受験生の緊張感がひしひしと伝わり、自分が学生時代受験した時を思い出しました。

面接官並びに地区米山記念奨学会委員会の皆

様のご協力の末に16名の素晴らしい奨学生を選ぶ事が出来ました事感謝申し上げます。

奨学生の方々には奨学金を大いに活用して勉学に研鑽していただき世話クラブの例会には月1回以上出席し、ロータリーの各種行事、活動にも率先して参加し、米山梅吉記念館へも足を運んでいただき将来は日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる事を心より願っております。

今回の選考に携わり、ご足労賜りました、2530地区会員の方々に衷心より感謝申し上げます、地区内クラブの皆様には今後とも米山記念奨学会委員会に対しご理解ご支援していただきますよう宜しくお願い申し上げます。ありがとうございました。



## 郡山南ロータリークラブ例会場変更のご案内

郡山南ロータリークラブの例会場が  
ホテルハマツから、**KIOKUNOMORI（記憶の森）**  
に変更になりましたので、お知らせいたします。

### 文書訂正のお知らせとお詫び

先般配付致しました「ガバナー月信 12月号」の記載内容に誤りがございました。つきましては、下記の通り訂正させていただきます。ご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

#### 訂正箇所

P17 須賀川ロータリークラブ60周年記念式典 (誤) 5月14日(日) → (正) 5月28日(日)

## マスコミトップインタビュー



公共イメージ・IT委員会  
委員長 町田 晃  
(郡山南RC)

2021-22年度 公共イメージ・IT委員会では、我が地区のロータリアンでもあるマスコミ7社のトップリーダーへのインタビュー記事を書き、冊子を作成し、各クラブにお配りしました。

この度、その記事をあらためてガバナー月信に掲載させていただくことになりました。

皆様のクラブの公共イメージ向上、広報活動の気づきになることを願っています。

今月号より順次掲載してまいります。皆様のご役職は当時のものであり、現在は変わられている方もいらっしゃることをご了解ください。

株式会社福島民報社  
代表取締役社長・編集主幹 芳見 弘一氏  
(福島ロータリークラブ)

福島民友新聞株式会社  
代表取締役社長 中川 俊哉氏  
(福島ロータリークラブ)

NHK福島放送局  
前局長 半沢 治久氏  
(福島ロータリークラブ)

福島テレビ株式会社  
代表取締役社長 横山 淳氏  
(福島ロータリークラブ)

株式会社福島中央テレビ  
代表取締役社長 五阿弥宏安氏  
(福島ロータリークラブ)

株式会社福島放送  
顧問(前代表取締役社長) 横山 宏氏  
(郡山東ロータリークラブ)

株式会社テレビユー福島  
特別顧問(前代表取締役社長) 新田 良一氏  
(福島ロータリークラブ)

インタビュー記事の掲載に先立ち、2021-22年度地区公共イメージ・IT委員会 相良元章委員長(2022-23年度福島ロータリークラブ会長)のごあいさつ文(まえがき)を載せさせていただきます。相良元章氏は、2019-20年度から3年間地区公共イメージ・IT委員会委員長として、公共イメージ向上と広報活動に多大なるご貢献を果たされました。

まえがき

私たちロータリーが「公共イメージの向上」を考えるうえで決して切り離すことができない

のが、地元マスコミ・報道機関との関係です。そうした繋がりを強化し、ロータリーの新鮮な情報を伝え、さらにマスコミ各社から忌憚のない意見を頂戴することを目的として、2018-19年度から2020-21年度までの3年間、毎年「マスコミ懇談会」を開催してまいりました。

これまで開催した懇談会では、各社の報道責任者からの視点や現場からの率直な意見を得ることで、多くの有効な気づきを得ることができました。

今年度も2021年10月に予定していたのですが、新型コロナの感染防止の観点から懇談会の開催を見送らざるを得なかったことは非常に残念でありました。

そこで今年度は、県内マスコミ7社のトップリーダーに直接インタビューをさせていただき、各社の報道責任者とはまた違う視点でロータリー活動に対する意見を頂戴することにいたしました。

準備の段階で気づいたのは、マスコミ7社のトップリーダーが全てロータリアンであるということです。これはもしかすると格別なことではないか、数多団体があるなかでなぜロータリーなのかという個人的な興味を抱きながらこのインタビューを進めました。

結果私なりの答えはありますが、それはここでは伏せておくことにいたします。

ぜひ最後まで読み進めていただき、皆様なりの答えを導きだしていただければと存じます。

結びに、お忙しいなかインタビューに対応いただいた各社の社長・局長様方とスタッフの皆様、文章にまとめていただいたライターの和田学様、福島ロータリークラブの渡辺康子様、1年間共に活動してくれた公共イメージ・IT委員会の皆様、いつも暖かく導いてくれた志賀ガバナー、佐久間英一パストガバナー、平井義郎パストガバナーに心よりの感謝を申し上げ、まえがきとさせていただきます。

ありがとうございました。



国際ロータリー第2530地区  
2021-22年度 公共イメージ・IT委員会  
委員長 相良 元章  
(福島ロータリークラブ 2022-23年度 会長)

# 地域づくりのプレーヤーとして 福島の活性化に汗をかく

 **福島民報社**

株式会社福島民報社

代表取締役社長 **芳見 弘一 氏**  
編集主幹

所属：福島ロータリークラブ

## プロフィール

1957年生まれ。学習院大学法学部卒業後、81年福島民報社入社。編集局勤務。会津坂下支局長、南相馬支社長、広告局長兼営業部長、東京支社長、編集局長などを歴任し、2015年取締役編集局長、16年常務取締役、18年専務取締役を経て、20年に代表取締役社長に就任。



Rotary Club  
RC  
MC  
X  
RC  
Foundation  
トップリダーインタビュー

## 「陰徳の美」。

### 活字が伝える奉仕の精神

県内60を超えるロータリークラブ（以下・RC）がありますが、私をはじめ所属したのが会津坂下RCでした。まだ37歳の時で、当社の先輩方から活動について聞いてはいましたが右も左もわからないう状態でした。しかし、さまざまな業種や年代の方、出会う機会のない方々と知り合うことができ、とてもいい経験をさせていただいたと思います。ありがたいことに多くのRCのおかげだと感じています。

RCは、身近に会員がいない人にとっては親近感が薄い団体ではないでしょうか。他の会員同様、私自身も各地区でさまざまな奉仕活動に取り組んでいることを知ってほしいと思っています。

そういう意味では、「新聞」は地域の隅々にある情報まで伝えることができるうってつけの媒体です。しかも紙面は浜・中・会津と地域ごとに分かれているので、より地域の活動を周知することも可能です。

しかし闇雲に活動を紹介しても読者の心には響きません。「陰徳の美」という言葉がありますが、

裏方として活動していることを伝えることも周知の方法ではないでしょうか。

### 地域活性化のために全力 全員で汗をかく

弊社では震災以降に「地域づくり会社である」という新たな社是を掲げました。地方紙は地域の情報バンク。集めた情報を活用しアクションを起こし、地域を元気にすることが大きな使命です。

その使命を果たすために「人づくり」「産業づくり」「健康づくり」を三本柱として取り組んでいます。福島は震災と原発事故以降、国内外の皆様から多大な支援をいただいております。それを見てきた子どもたちは「世の中のために何かしたい」「人の役に立ちたい」と思っています。福島の将来を担う子どもたちの手助けをすること、それが「人づくり」です。

また地元のやる気のある企業を表彰する「ふくしま産業賞」の創設は、企業同士のつながりや活性化をうながすことで生まれる「産業づくり」を目的としています。優れた技術を持った県内企業を知っていたただく機会にもなると思っています。

そして「健康づくり」。これは

復興・再生に最も重要なことで、福島で暮らす誰もが幸せで元気で長生きできるようにすれば、真の復興・再生を成すことができると思っています。

福島の活性化のために、私たちは「地域づくりのプレーヤー」として全力で汗をかこうと、全社をあげて取り組んでいるところです。「はじまりの地」から発信する

### 挑戦の姿

震災、原発事故から11年が経過しました。県内では復興道路や防波堤、鉄道などインフラが整備され、除染も進められてきましたが、まだ多くの方が故郷に戻れず風評被害にもさらされているのが現状です。

福島は多くの困難に直面する課題先進県、いわば「はじまりの地」です。これから30年、40年とかかる廃炉作業、日本全体のことではありませんが少子高齢化に伴う福祉の問題など、チャレンジしていかなければいけないことがたくさんあります。

あらゆる困難に立ち向かい乗り越えていくことが、これまで福島を支援してくださった方々への恩返しになると信じて、あらゆる挑戦を続けていきたいと思っています。

# 職業奉仕委員会



## 決議 23-34

委員 内藤哲太郎  
(二本松RC)

決議23-34とは、1923年にセントルイスで開催された大会で、34号議案として提案された決議です。手続き要覧に「社会奉仕に関する1923年の声明」として掲載されています。

決議23-34の原文には「綱領に基づく諸活動に関するロータリーの方針」

というサブタイトルがつけられ、ロータリー活動全般にわたって、RIとクラブとロータリアンの機能を明確化し、ロータリアンとクラブが行うロータリーの諸活動に関する指針となるものです。ロータリーの綱領がロータリアン自身に対する目標設定で、この決議は主にロータリークラブを対象としています。

### 決議23-34

第一条ではロータリーの奉仕理念が述べられています。

第二条ではロータリークラブの役割について、

- ①奉仕の理論を団体で学ぶこと。
- ②奉仕の実践例を団体で示すこと。
- ③奉仕活動の実践を個人で行うこと。

④ロータリーの奉仕理念と実践を一般の人に受け入れてもらうこと。

が述べられています。

第三条ではRIの役割について述べられています。

第四条ではロータリー運動は単なる理念の提唱ではなく、実践哲学であり、奉仕するものは行動しなければならないと述べられています。

第五条にはクラブ自治権について定められています。

第六条ではクラブが実施する社会奉仕実践の指針が述べられています。

### なぜ決議 23-34は重要なのか？

第一条では、二つの奉仕理念を述べています。

一つは他人のことを思い遣り、他人のためにつくそうという国際社会を含んだ対社会的奉仕活動に関する理念であり、私たちはこれを「超私の奉仕」というモットーで現しています。もう一つは科学的かつ道徳的な経営方針によって、自分の事業や同業者の事業の発展を図ると共に、業界全体のモラルを高めていこうという職業奉仕の理念であり、私たちはこれを「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」というモットーで現しています。ロータリーにとってもっとも大切なこの二つの奉仕理念を定義している唯一のもので、この決議23-34は理念を述べていることが重要なのです。

「参考文献」

職業奉仕 その原理と実践 田中 毅

# 新会員紹介

●中央分区 郡山 RC  
**伊藤 基文** いとう もとふみ  
●入会日 2022年11月17日  
●職業分類 生花販売  
●勤務先 株式会社花ぶじ

●中央分区 郡山西北 RC  
**高田 正志** たかだ まさし  
●入会日 2022年11月2日  
●職業分類 電気通信機器販売  
●勤務先 情報コネクスト株式会社

●中央分区 郡山西北 RC  
**吉田 雅彦** よした まさひこ  
●入会日 2022年11月2日  
●職業分類 保険代理業  
●勤務先 株式会社保険ステーション

●会津分区 会津若松 RC  
**武藤 公一** むとう こういち  
●入会日 2022年11月2日  
●職業分類 紙販売  
●勤務先 丸善商事株式会社

●会津分区 喜多方 RC  
**堀 恵子** ほり けいこ  
●入会日 2022年10月25日  
●職業分類 園芸家  
●勤務先 株式会社河京

●会津分区 喜多方 RC  
**佐々木深雪** ささき みゆき  
●入会日 2022年10月25日  
●職業分類 児童施設  
●勤務先 menkoi 株式会社

●会津分区 喜多方 RC  
**山中 宏行** やまなか ひろゆき  
●入会日 2022年11月15日  
●職業分類 ビジネスホテル  
●勤務先 株式会社プロジェクト会津

●会津分区 喜多方 RC  
**川見 晃** かわみ あきら  
●入会日 2022年11月15日  
●職業分類 料理店主 (中華)  
●勤務先 丸見食堂

●会津分区 田島 RC  
**大竹 博史** おおたけ ひろし  
●入会日 2022年11月1日  
●職業分類 運送業  
●勤務先 株式会社ユミタ運輸

●相双分区 浪江 RC  
**田南 達也** たみなみ たつや  
●入会日 2022年11月10日  
●職業分類 発電事業  
●勤務先 東京電力ホールディングス(株)

●相双分区 富岡 RC  
**三瓶陽一郎**さんべい よういちろう  
●入会日 2022年11月2日  
●職業分類 管工業  
●勤務先 双葉管工株式会社

●相双分区 富岡 RC  
**千田 英昭** ちだ ひであき  
●入会日 2022年11月2日  
●職業分類 原子力発電送電設備業  
●勤務先 東京電力パワーグリッド株式会社

●県中分区 滝根 RC  
**山下 尊宣** やました たかのり  
●入会日 2022年11月1日  
●職業分類 うなぎ養殖業  
●勤務先 ニューフロンティア(株)

# 11月会員数報告と My ROTARY 登録率・生年月日登録率

※12月19日現在

分 区	クラブ	7/1現在会員数 (内女性)	前月末会員数 (内女性)	1日付け入会者数 (内女性)	2日～月末入会者数 (内女性)	当月退会者数 (内女性)	当月末会員数 (内女性)	例会 回数	My ROTARY 登録率※	生年月日 登録率※
中央 分 区	郡 山	97 (0)	102 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	103 (0)	3	25.24 %	36.89 %
	郡山西	40 (0)	41 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	41 (0)	4	70.73 %	17.07 %
	郡山東	31 (2)	32 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	32 (2)	2	87.10 %	62.50 %
	郡山南	90 (13)	90 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	90 (13)	3	74.44 %	100.00 %
	郡山北	39 (0)	41 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	41 (0)	4	50.00 %	19.51 %
	郡山西北	42 (2)	41 (2)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	43 (2)	4	25.58 %	13.95 %
	郡山安積	56 (3)	55 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	54 (1)	4	24.07 %	29.63 %
	郡山アーバン	29 (14)	29 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	29 (14)	3	72.41 %	34.48 %
	郡山コスモス	17 (2)	17 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (2)	2	100.00 %	64.71 %
福島グローバル	17 (2)	17 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	16 (2)	2	68.75 %	93.75 %	
中央分区分小計		458 (38)	465 (37)	0 (0)	3 (0)	2 (1)	466 (36)	31	59.83 %	47.25 %
県北 第 一 分 区	福 島	95 (7)	98 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	98 (6)	3	100.00 %	100.00 %
	二本松	39 (4)	40 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	40 (4)	3	70.00 %	97.50 %
	福島南	65 (6)	67 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	67 (6)	3	74.63 %	100.00 %
	福島西	24 (1)	24 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (1)	3	83.33 %	100.00 %
	福島中央	47 (3)	49 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	49 (3)	3	95.92 %	100.00 %
	二本松あだたら	35 (5)	35 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (5)	2	100.00 %	100.00 %
	福島21	41 (4)	42 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	42 (4)	3	85.71 %	100.00 %
県北第一分区分小計		346 (30)	355 (29)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	355 (29)	20	87.08 %	99.64 %
会津 分 区	会津若松	51 (0)	51 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	52 (0)	4	38.46 %	94.23 %
	喜多方	43 (0)	46 (2)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	48 (2)	4	87.50 %	100.00 %
	会津若松西	25 (1)	25 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (2)	3	68.00 %	96.00 %
	猪苗代	27 (4)	27 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	27 (4)	2	81.48 %	88.89 %
	会津坂下	33 (0)	33 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	33 (0)	4	66.67 %	21.21 %
	田 島	34 (0)	34 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (0)	4	65.71 %	74.29 %
	会津若松南	14 (1)	16 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (1)	4	37.50 %	100.00 %
	会津若松城南	24 (0)	24 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (0)	4	45.83 %	100.00 %
	喜多方中央	30 (1)	30 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	30 (1)	4	100.00 %	100.00 %
	会津若松中央	19 (6)	21 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (6)	3	85.71 %	100.00 %
会津分区分小計		300 (13)	307 (16)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	311 (16)	36	67.69 %	87.46 %
い わ き 分 区	いわき平	49 (0)	51 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	51 (0)	3	28.85 %	100.00 %
	いわき小名浜	71 (0)	71 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	71 (0)	4	18.31 %	98.59 %
	いわき勿来	36 (0)	36 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (0)	5	36.11 %	97.22 %
	いわき内郷	25 (3)	23 (3)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	22 (3)	3	27.27 %	59.09 %
	いわき常磐	15 (0)	15 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	15 (0)	2	46.67 %	33.33 %
	いわき平東	38 (3)	43 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	43 (3)	2	81.40 %	88.37 %
	いわき四倉	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0	50.00 %	100.00 %
	いわき平中央	28 (4)	28 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	28 (6)	2	29.63 %	92.86 %
いわき桜	10 (10)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	3	90.00 %	100.00 %	
いわき分区分小計		274 (20)	279 (22)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	278 (22)	24	45.36 %	85.50 %
県北 第 二 分 区	飯 坂	39 (5)	39 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	39 (5)	3	100.00 %	100.00 %
	福島北	50 (1)	51 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	51 (1)	4	100.00 %	100.00 %
	保 原	28 (3)	29 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	29 (3)	3	55.17 %	100.00 %
	福島東	36 (3)	37 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	37 (3)	3	81.08 %	100.00 %
	梁 川	17 (3)	17 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (3)	4	75.00 %	100.00 %
	川 俣	35 (2)	35 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (2)	4	65.71 %	100.00 %
	福島しんたつ	15 (2)	17 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (2)	3	50.00 %	100.00 %
県北第二分区分小計		220 (19)	225 (19)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	225 (19)	24	75.28 %	100.00 %
県南 分 区	白 河	40 (2)	40 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	40 (2)	5	30.00 %	17.50 %
	須賀川	43 (1)	46 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	46 (1)	4	15.22 %	89.13 %
	東白川	12 (0)	12 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (0)	4	45.45 %	100.00 %
	石 川	34 (1)	35 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (1)	3	31.43 %	100.00 %
	朱 吹	11 (1)	11 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (1)	3	27.27 %	45.45 %
	白河西	65 (6)	66 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	66 (6)	3	98.48 %	100.00 %
	須賀川ぼたん	12 (0)	12 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (0)	4	50.00 %	91.67 %
	白河南	15 (0)	14 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (0)	4	7.14 %	0.00 %
県南分区分小計		232 (11)	236 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	236 (11)	30	38.12 %	67.97 %
相 双 分 区	原 町	21 (0)	25 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (1)	2	16.00 %	96.00 %
	相 馬	29 (4)	30 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	30 (4)	3	26.67 %	100.00 %
	浪 江	42 (2)	45 (3)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	46 (3)	2	30.43 %	100.00 %
	富 岡	38 (5)	44 (7)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	46 (7)	2	30.43 %	100.00 %
	原町中央	40 (6)	43 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	43 (6)	3	18.60 %	100.00 %
	南相馬	22 (2)	22 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	21 (2)	3	85.71 %	100.00 %
相双分区分小計		192 (19)	209 (23)	0 (0)	3 (0)	1 (0)	211 (23)	15	34.64 %	99.33 %
県 中 分 区	本 宮	34 (8)	35 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (8)	4	34.29 %	100.00 %
	三 春	23 (2)	23 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	23 (2)	3	69.57 %	91.30 %
	常 葉	25 (0)	25 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (0)	3	48.00 %	100.00 %
	滝 根	2 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	1	66.67 %	100.00 %
	船 引	46 (3)	48 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	48 (3)	3	70.83 %	100.00 %
小 野	19 (1)	18 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	17 (1)	3	23.53 %	52.94 %	
県中分区分小計		149 (14)	151 (14)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	151 (14)	17	52.15 %	90.71 %
2530地区合計		2,171 (164)	2,227 (171)	2 (0)	9 (0)	5 (1)	2,233 (170)	197	57.52 %	84.73 %

※7/1現在会員数には、7/1入会者7名を含んでいます。



# ロータリー国際大会 2023

2023年5月27日(土) ~ 31日(水)

オーストラリア/メルボルン

**登録料**

2022年12月15日まで	\$475
2022年12月16日~2023年3月31日まで	\$575
2023年4月1日~2023年5月31日まで	\$675



rotary youth  
leadership  
awards

国際ロータリー第2530地区 2022-23年度

## 第41回RYLA研修会 参加者募集

コロナ禍で若者が夢を持ちにくい世の中になっています。RYLA 研修会に参加したことで希望ある未来へのヒントをつかむことができることを願っています。来年度は全国大会が福島で開催されますので、各クラブから1名以上のRYLA 研修生のご参加をお願いいたします。当日は、ロータリアン2名を含め経済産業省資源エネルギー庁の木野正登様をお迎えし講演会を開催いたします。さらに、9日は福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」への視察も予定しています。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

**テーマ** 「生きる 未来への発信」

**ワークショップ** 「アンガーマネジメント」  
～怒りの対処術～

**開催日** 2023年4月8日(土) 9日(日)

**講師** (株)岡田プランニング 代表取締役 岡田 友子 さん

**開催場所** 母畑温泉 八幡屋

**海外視察雑感** ～百聞は一見に如かず～

**講師** 経済産業省資源エネルギー庁  
廃炉汚染水処理水対策官 木野 正登 様

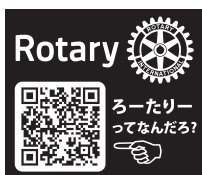
**講師** 田代行孝税理士事務所 税理士 田代 行孝 さん

### RYLA研修会参加資格

18歳から40歳くらいまで / 学生、社会人、ロータリーファミリー  
募集人数 80名 (定員に達した時点で締め切りいたします。)  
参加費 16,000円

### ● 公共イメージIT委員会からのお願い ●

友人や知人の方にロータリーを紹介しましょう♪  
スマホのカメラでQRコードを読み取ってください



一般向けサイト



Facebookページ

### 今月の表紙紹介

写真提供：  
(一社) 喜多方観光物産協会



冬は多くのスキーヤーで賑わう喜多方市三ノ倉高原からのぞむ雄国山と磐梯山。  
早朝には雲海が眼下に広がって幻想的な景色が広がります。